



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.369 2021
鹿児島ワイズメンズクラブ

9 月号

国際会長 : Kim Sang-chae [韓国] 世界とともにワイズメン Y's Men with the World
 アジア会長 : 大野 勉 [神戸ポート] 100年を越えて変革しよう Make a difference beyond the 100th
 西日本区理事 : 新山 兼司 [京都トップス] Challenges for the future 未来への挑戦
 九州部部长 : 森 律子 [八代] 小さなことにも大きな愛を込めて。そして未来へ
 With great love for the little things And towards the future...



SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

2021-2022年度 8月キックオフ例会報告

8月定例会は、コロナの現況を見極めたうえで今回はリモートにて例会を開催しました。また部長訪問例会ということで、九州部より森律子部長、守田富男書記、八代クラブから守田涼子会長をお迎えしまして行われました。今期森部長は「小さなことにも大きな愛を込めて。そして未来へ」を主題に掲げています。挨拶の中で「九州部17クラブが、それぞれの特長を生かして、クラブ間の連携と情報交換、交流を通してワイズの輪を広げよう。また、大きく変化する時代の波に動揺することなく、それぞれの事業に取り組み、YMCAとワイズの協働も進めながら、自己研鑽の場であるワイズ活動へ積極的に参加し、互いが向上心を持ち、未来に向かってチャレンジしましょう。」と今期の決意を述べていただきました。

諸報告後は、茶話会と称してお茶のかわりにアルコールを片手に自由なテーマで座談を開催しました。やっぱり話題は「健康について」になりました。コロナ禍でまだまだ油断のできない状況ではありますが、お身体に気をつけて日々の生活を過ごしていきたいものです。

来月2日は九州部部会です。ハイブリッド開催の予定ですので、会場に行けなくてもリモートからでも是非参加しましょう。

鹿児島クラブ 松永 英明



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



会長通信

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.



国の「コロナウィルス蔓延防止重点措置」や県の「鹿児島県緊急事態宣言」発令延長により、9月例会も完全リモートとさせていただきます。とにかく今は、「我慢、我慢」するしかないと思います。8月例会は森九州部長（八代クラブ）にオンラインでご参加、ご挨拶をいただきました。守田九州部書記ご夫妻もリモート参加で『オンライン茶話会』と称して盛り上がりました。世界に目を向けますと、また、歴史的に節目が刻まれました。

2001年9月11日、アメリカ本土で同時多発テロ事件が発生し、世界貿易センタービルなどがハイジャックされた民間航空機に突入攻撃され、多くの方が犠牲になりました。あれから20年、アメリカは報復戦争を仕掛け、イラク、アフガニスタンへと派兵を続けましたが、先日、アフガニスタンからの撤退を完了しました。ニュース映像を視ていたら、「似たような情景はかつて見たぞ」と思いました。1975年の南ベトナム、サイゴン陥落の映像シーンです。ベトナムから米軍が撤退するとき、撤退するヘリコプターや艦船に多くのベトナム人が縋（すが）り付く、あの場面です。アメリカは一体ベトナムから何を学んだのでしょうか。アフガニスタンで長年、NGO組織のリーダーとして支援を続けた日本人医師中村哲さんの言葉が胸に残ります。「アフガニスタンに軍隊は要らない!」と言い続けながら水路を建設し続けた中村さんの姿にこそ真理があると思うのです。かつてのソ連もアフガニスタンで失敗、アメリカも失敗、お次は中国でしょうか。

76年前、完膚なきまで叩きのめされ、約300万人もの犠牲の上に平和を得た日本だからこそ、今、出来ることがあると思います。そろそろ人間も何かを学ぶべきでしょう。さもなければ、そうこうするうちに地球環境の人間への本格的反撃が始まりつつあります。武器を手取るのではなく、SDG'sの旗の下、持続可能な生き方を人類は真剣に模索するときなのです。アメリカの事ばかり申しましたが、我々日本もこのコロナ禍で様々な弱点が顕わになりました。持続可能な社会を目指すことが、日本の弱点克服にもつながると思います。ワイズメンズクラブはそれを一歩リード、半歩でもいいから社会に問いかけ続けましょう。まずは、出来ることから始めましょう。



理事通信

西日本区理事 新山 兼司

Challenges for the future

未来への挑戦



第32回夏季オリンピック東京大会は8月8日、東京都新宿区の国立競技場で閉会式を行い、17日間の日程に幕を下ろしました。新型コロナウィルスの影響で史上初めて1年延期となった大会は、緊急事態宣言下での開催を強いられ、大半の会場は無観客で批判と混乱の中、世界中から集まった選手が熱戦を繰り広げました。

お盆に近づく大雨、そして新型コロナの急増加となり日本列島も各地で災害や新型コロナ感染拡大のニュースばかりでした。

そのような中、ワイズメンズクラブ国際協会第29回アジア太平洋地域大会が、8月14日（土）台湾・台南市でハイブリットによる形式で開催されました。

コロナ禍の中で開催された、新しい形のアジア太平洋地域大会でした。

各エリア旗とともにRDの紹介もして頂き感謝です。厳粛な式典が執り行われ、役員紹介、アジア太平洋地域各エリアの活動等も紹介され、充実した内容のプログラムでした。西日本区から多くの皆様にご参加を頂き、有難うございました。

AYCが8月7日（土）・8日（日）オンラインにて共に学び、交流を図ろうと、各区からのユース有志の集いが開催されました。コロナ禍の中でも、ワイズの活動は躍動しています。

西日本区内ではワイズメンズクラブ創立100周年事業に関連する委員会が多く開催されています。又、西日本区竹内メネット事業主任のヘアードネーションの講演が、8月17日（火）岡山クラブ例会にてオンラインで開催されました。多くのメンバー・メネットさんにご参加を頂き感謝致します。

9月からは楽しみにしている、各部の部会が開催されます。私は、全ての部会に参加します。新型コロナの感染拡大が気になりますが、各部の部会内容に変更があったとしても、安全第一・健康第一で宜しくお願い致します。



鹿児島市は国連の2030年までに持続可能な開発目標であるSDGs(17項目)の達成に向けた取組みを推進している。そこで市民にSDGsの啓発普及を図ることを目的にパンフレットを作成することになった。その業務を受託した会社から開発目標の17項目について、10代から70代の市民が実際に行っている取組みをパンフレットに載せたいので、市民の1人として、写真撮影を引き受けてくれないかと依頼があった。今更老醜さらすのを懸念したが、鹿児島ワイズメンズクラブや鹿児島YMCAもSDGsの推進に取り組んでいるので、良い機会だと考え引き受けることにした。私は「移動するときはバスや自転車を利用します。」(13項 気候変動に具体的な対策)と、家内は「使っていない電気をこまめに消す」(7項 エネルギー みんなにそしてクリーンに)と書いたパネルを持ち写真撮影を行った。そのほかの項目についても年齢層の違う市民が、同じように写真撮影を行った。他の方々が書いたパネルを見ると身近なことの実践の積みかさねがSDGsの推進につながっていることが良くわかる。

ワイズメンズクラブでも身近に出来ることを探し実践していけば、結果的にSDGsの推進につながっていくのではないと思う。また、ワイズメンとして、未来に生きる子ども達にSDGsの理解と実践を伝えていくことは大事な努めだと思う。

鹿児島クラブ 徳田 穰



09 企画例会報告 Planning meeting report

日 時：令和3年9月14日 火曜日
19:00 ~ 20:00
場 所：Zoom
出席者：神村、中堀、園屋、徳田、
松若、松永

08 定例会報告 Planning meeting report

日 時：令和3年8月31日 火曜日
場 所：鹿児島国際交流センター
出席者：11名
司会者：松永

8月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	8名
メネット	0名
ゲスト	3名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
8月出席率	110%



コナラ

コナラ(小櫛、学名: Quercus serrata)はブナ目ブナ科コナラ属の落葉広葉樹。別名ホウソ。「コナラ」の名は、もう一つの日本の主要なナラであるミズナラの別名であるオオナラ(大櫛)と比較してつけられた。北海道、本州、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布する。日本では雑木林に多く見られる。葉は長楕円型で縁に尖った部分がある。花は4-5月、若葉が広がる時に咲き、秋に実(ドングリ)が熟す。樹皮は灰色で、縦に裂け目が出る。落葉樹だが、秋に葉が枯れた時点では葉柄の付け根に離層が形成されないため葉が落ちず、いつまでも茶色の樹冠を見せる。春に新葉が展開する頃に枯れた葉の基部の組織で離層が形成され、落葉が起きる。牧園の我が家の近くの路上に毎年、コナラのどんぐりが落ち始める。それは秋の知らせである。
ウイキペディア参照

今月の聖句

信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。
その中で最も大名るものは、愛である。

コリントの信徒への手紙13章13節

鹿兒島YMCA報告

鹿兒島県における緊急事態宣言の継続とまん延防止等重点措置法期間延長となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？ 風がすっかり秋らしくなり、朝晩は心地よい気温となってきましたが、行楽シーズンに自粛しないといけない辛さは今年までであってほしいところです。

鹿兒島YMCAで行っているチアダンス事業は、感染症対策の一環で希望者向けにオンラインレッスンを導入し、毎回10～15名程度の生徒が受講しています。新型コロナウイルス感染が始まって1年半以上も続く中で新たな取り組みに、私たちスタッフも子どもたちも徐々にインターネット環境を活用したオンラインの世界に順応しつつあります。

このインターネット環境を活用したオンラインの世界は、皆さんの間でも確実に広がりを見せております。その最たる例が、Zoomを活用したオンライン会議なのではないでしょうか。

去る9月11日（土）に、オンライン研修会「2021年度西日本地区YMCA役員研修会」が開催され、鹿兒島からは麦野代表理事、中松会長、埜総主事、田淵常議員に加え、徳田ワイズ、松若ワイズが参加し、日本YMCA中期計画について学びを深めました。九州各地のワイズメンも多く参加していました。グループ討議内では、私は八代クラブの守田ワイズと同じグループとなり、八代ワイズメンズクラブでの取り組みとYMCA中期計画の連動性につながる活動事例などのお話を聞かせていただきました。学びを通して、九州広島各地のYMCAに連なる役員の方々、ワイズメンズクラブの方々とは知識や経験を事例と共に共有し、YMCA運動を盛り上げる、支えるということを考える時間となりました。離れていても、画面の先にいてもつながっているを改めて実感しました。

新型コロナウイルスの感染状況も徐々に落ち着きを見せ、ワクチン接種もどんどん広がってきている現在ですが、皆様もくれぐれもご自愛ください。

鹿兒島YMCA 新内 博之

